

2013年 やっとかめ文化祭 開催報告

～芸どころ・旅どころ・なごや～



狂言師：井上松次郎

やもしろいもて
見にいみか
かんで忙しいでね
海をフリヤ食んべとんてー

平成 25 年度 文化庁
地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

制作物 (歴史まち歩きマップ)



歴史まち歩きマップ (A3判片面カラー) 全 23 コース
合計 11,500 枚

協賛社: **MEITETSU** **TOYOTA**

Menicon **東海東京証券**

AEON **安藤ハザマ**

あつた蓬萊軒 株式会社安藤七宝店 株式会社エーアンドブイ 中部国際空港株式会社
株式会社名古屋銀行 名古屋城振興協会 名古屋名物みそかつ矢場とん
日本ガイシ株式会社 丸茂電機株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社八百彦本店
株式会社両口屋是清 三精輸送機株式会社 名古屋いろいろの元祖 餅文総本店

主催：やっとかめ文化祭実行委員会

構成団体 / 名古屋市(文化振興室、観光推進室、歴史まちづくり推進室)

(公財)名古屋市文化振興事業団・(公財)名古屋観光コンベンションビューロー・中日新聞社

後援：名古屋商工会議所・中部経済連合会・中部経済同友会

協力：名古屋三曲連盟・名古屋邦楽協会・名古屋日本舞踊協会・(公社)能楽協会 名古屋支部・徳川美術館・

名古屋鉄道株式会社・近畿日本鉄道株式会社・名古屋市交通局

総合プロデューサー：茶谷 幸治 Co.プロデューサー：中野 公雄

やっとかめ文化祭実行委員会事務局

(公財)名古屋市文化振興事業団内 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク8階
TEL 052-249-9385 FAX 052-249-9386 URL <http://www.yattokame.jp>

やっとかめ文化祭を終えて

平成 25 年 10 月 31 日(木)から 11 月 24 日(日)まで、25 日間にわたって、「やっとかめ文化祭～芸どころ・旅どころ・なごや～」を開催いたしました。

全国で初の試みとなる「辻狂言」をはじめ、多彩な伝統芸能の公演や、歴史的な建造物を会場にした「寺子屋」、まちの魅力を再発見する「歴史まち歩き」など、まちを舞台に様々なイベントを展開いたしました。総勢 550 人の皆さまにご出演いただくとともに、期間中の参加者数は 30,130 名にのぼり、まさに名古屋を挙げた文化祭になりました。

ご協力を賜りました皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

やっとかめ文化祭実行委員会

事業概要

開催期間：平成 25 年 10 月 31 日(木)～11 月 24 日(日) 25 日間

参加者総数：30,130 人

総出演者数：550 人

内容：●芸どころまちなか披露

○「辻狂言」「平成殿様踊り」「箏曲」「長唄」ほか全 34 回

●古典の日・邦楽名古屋舞台

～古典をいただき、古典に抱かれて～

●やっとかめ能楽舞台

○四百年の時をつなぐ 十一世藤田六郎兵衛 笛の世界

○和泉流狂言づくし～名古屋は狂言のまちじゃ～

○御殿能～尾張名古屋は芸でもつ～

●やっとかめ大須舞台

○劇座公演「元禄なごや事件帖～朝日文左衛門 元禄御畳奉行日記より～」

○受け継がれる大衆芸能～都々逸・正調名古屋甚句・落語・講談・お座敷芸披露他～

●まちなか寺子屋

○「狂言って何じゃ?」「和の香りを楽しむ聞香」ほか全 16 回

●歴史まち歩き

○「南寺町 東の大須」「神話のみち 熱田の杜」ほか 23 コース 全 46 回



辻狂言



四百年の時をつなぐ
十一世 藤田六郎兵衛 笛の世界



逆説の日本史 名古屋編 (建中寺)

「やっとかめ文化祭」がはじまった

日本に数ある都市のなかでも、名古屋は徳川文化をまともに継承する個性的な都市です。そこには、名古屋人の持つ生活感覚の上品さや芸事をたしなむ生活の豊かさがああります。

この文化祭は、名古屋に受け継がれてきた都市芸能に焦点を合わせました。長唄や箏や舞踊や俗曲は、他都市では「古典芸能」の域を出ないのですが、名古屋ではいまでも日常感覚の「芸事」としてたしなまれています。「芸どころなごや」である所以です。それは名古屋の都市感覚の良質な部分を支えていて、日本人の感性を代表する都市特性として大いに評価されるべきですが、残念ながらいまや名古屋市民にも十分に理解されているとはいえません。

そこで「やっとかめ」(久しぶり)の文化祭ということになりました。

東京や大阪のマス文化に目眩まされ、名古屋市民ですら忘れかけている本質的な名古屋文化を、久しぶりにまち中の大勢のみなさまにお目にかけるというものです。

文化祭は、この狙いどおりの成果を収めることができました。中心になったのは、名古屋で育まれた和泉流狂言を都心の路上で公演する「辻狂言」で、伝統と格式の芸能を民衆の雑踏のなかに降下させるという冒険をやっていたいただきました。都市の騒音と民衆の密接する視線に包囲された狭い空間で演じられた狂言師の芸は、逃げもごまかしも効かない緊張感のなかで演じられましたが、観衆から沸き起こった掛け値のない爆笑が、「名古屋は狂言のまちだ」という高らかな宣言に聞こえました。

「歴史まち歩き」も、地元のガイドさんの踏ん張りがあって、名古屋のまちの歴史的な深みが多く参加者に理解されました。アカデミックな話を専門家が語る寺子屋も大盛況で、名古屋市民の知的レベルの高さを実証しました。さらには「殿様踊り」平成版の試みや、宮古路豊後掾の浄瑠璃「名古屋心中」の再現、藤田流能管の世界、朝日文左衛門日記の現代劇など、名古屋らしいすぐれた「やっとかめ」をご披露できたのではと自負しています。

この文化祭に、惜しみなくご協力くださったみなさまは数百名に達しました。平伏してお礼申し上げます。みなさまの意識の昂ぶりがなくては、文化祭は成功しなかったでしょう。そして、これから、市民のみなさまの意識のさらなる昂ぶりをもって、名古屋の文化自慢を広く日本中に伝播させたいと思っています。ありがとうございました。



総合プロデューサー
茶谷 幸治

‘やっとかめだなも’名古屋弁で「おひさしぶりですね」という意味です。
 やっとかめ文化祭は、先人が育ててきた文化・芸能や、まちに眠る歴史の物語など、
 名古屋の宝物に再会する25日間。
 まちじゅうを舞台にして、全部で100を超える多彩なプログラムを開催しました。

芸どころまちなか披露

11月1日(金)～22日(金)・全34回
 会場：ナナちゃん人形ストリートイベントスペースほか

辻狂言

名古屋は狂言のまち。和泉流狂言の発祥地です。
 尾張徳川家が守り育てた狂言は、まちの人々に愛され、現代まで大切に受け継がれています。
 2013年秋、名古屋のあちこちに狂言の路上パフォーマンスが出だし、まちは温かな笑い声に包まれました。



狂言「泉山伏」

尾張藩祖義直ゆかりの「平成殿様踊り」をはじめ、「箏曲」、「長唄」、「名古屋甚句」、「大正琴」の公演を行いました。



平成殿様踊り

箏曲

長唄

古典の日・邦楽名古屋舞台

11月1日(金)
 会場：名古屋能楽堂

11月1日は「古典の日」

人間国宝・常磐津一巴太夫による名古屋心中「睦月連理玉椿」をはじめ、
 名古屋で受け継がれてきた邦楽が一堂に集いました。



常磐津「睦月連理玉椿」

金の鯨ほこ

オープニング 10月31日(木)
 会場：オアシス21



やっとかめ文化祭の始まりをつげる華やかなオープニング。能・狂言・箏曲・名古屋甚句・熱田神戸節など、文化祭のお楽しみを一堂に集めて、「ちょい出し」しました。名古屋のまちに笑いの神が降りてきた瞬間です。

やっとかめ能楽舞台

11月4日(月)・15日(金)・16日(土)
 会場：名古屋能楽堂

武家の式楽としてだけでなく、広く町人にも愛された能楽は、今も昔も名古屋の自慢です。
 「芸どころ名古屋」の本領発揮となる能・狂言、そして笛の舞台をお届けしました。



四百年の時をつなぐ
 十一世 藤田六郎兵衛 笛の世界

和泉流狂言つくし
 ～名古屋は狂言のまちじゃ～

御殿能
 ～尾張名古屋は芸でもつ～

やっとかめ大須舞台

11月9日(土)・12日(火)
 会場：大須演芸場

南寺町として発展した大須は、江戸時代には、芝居小屋、寄席、見世物などが建ち並び、多くの人で賑わいました。
 都々逸や正調名古屋甚句など、名古屋で花開いた大衆芸能や、実在の尾張藩士を題材にした新作劇をお楽しみいただきました。



元禄なごや事件帖
 ～朝日文左衛門 元禄御豊奉行日記より～

受け継がれる大衆芸能
 ～都々逸・正調名古屋甚句・落語・講談・お座敷芸披露ほか～

まちなか寺子屋

11月2日(土)～23日(土)・全16回
 会場：長母寺、徳川美術館、文化のみち榎木館ほか

名古屋の歴史や文化は、寺社や町並み、街道など、まちの至るところに密かに息づいています。
 ゆかりの場所や貴重な文化財を会場にして、伝統文化や歴史を楽しく学ぶ講座やワークショップを開催しました。



狂言って何じゃ？(長母寺)

名古屋の能楽の歴史と
 ワキ方ワークショップ(揚輝荘)

宗春の名古屋心中(建中寺)

歴史まち歩き

11月1日(金)～24日(日)・全46回
 会場：東海道 宮宿、南寺町 西の大須ほか

今や全国的なまち歩きブーム。知られざる歴史の物語や、地名の不思議など、イメージを働かせると、
 まちは発見に満ちています。そのまちを一番知っている地元のガイドさんに導かれて、23コースの‘まち探検’に出かけました。



堀川・納屋橋～円頓寺界隈

御用水 黒川

南寺町 西の大須

メディア掲載一覧



中日新聞夕刊（グラフィック） 2013年11月8日

媒体	件数	内容
中日新聞	※朝刊 265 万部、夕刊 50 万部	
社告	1 件	9/10
広告	4 件	10/13,18,19 (※朝刊 全 5 段)
		10/22 (※夕刊テレビ面 半 5 段)
記事	13 件	9/22 藤田六郎兵衛 笛の世界 稽古開始
		9/30 オープニング紹介
		10/1 古典の日・邦楽名古屋舞台紹介
		10/25 特集記事(※朝刊 全 10 段カラー)
		10/25 藤田六郎兵衛の世界、大衆芸能、和泉流狂言づくし、御殿能紹介(※夕刊)
		10/26 全体紹介
		11/1 オープニング
		11/2 古典の日・邦楽名古屋舞台、辻狂言
		11/5 藤田六郎兵衛の世界、まちなか寺子屋
		11/7 辻狂言(三重版)
		11/8 芸どころまちなか披露(※夕刊)
		11/11 平成殿様踊り(※夕刊)
		11/14 歴史まち歩き
連載	2 件	11/12 辻狂言
		11/13 平成殿様踊り
テレビ	6 件	10/31 テレビ愛知「NEWS アンサー」
		11/4 東海テレビ「スイッチ！」
		11/6 NHK「ほっとイブニング」
		11/7 テレビ愛知「名古屋しゃちほこ学園」
		11/15 中京テレビ「4U」
		11/15 中京テレビ「キャッチ！」



中日新聞朝刊 2013年10月25日

媒体	件数	内容	
その他	10 件	9/19 雑誌「一個人」ホームページ	
		11 月号 雑誌「旅の手帖」	
		11 月号 交通局ニュース「ナゴヤバレット」	
		10~11 月 地下鉄中吊「お出かけ情報」	
		10/28 雑誌「東海ウォーカー」ホームページ	
		11/1 名古屋ナビホームページ	
		11/2,15,16 Network2010(動画)	
		11/7 名駅経済新聞	
		ソーシャルメディア	フェイスブック いいね! 1,268人
		ツイッター フォロワー 346人	

制作物



ポスター (B1 判~B3 判カラー) 1,100枚



公式プログラム (A4 判カラー 12 ページ) 120,000部



チラシ・オープニング (A4 判両面カラー) 10,000 枚



チラシ・古典の日 (A4 判両面カラー) 10,000 枚



チラシ・やっとかめ能楽舞台 (A3 判両面カラー) 23,000 枚



チラシ・元禄なごや事件帖(演劇) (A4 判両面カラー) 10,000 枚



チラシ・受け継がれる大衆芸能 (A4 判両面カラー) 10,000 枚



チラシ・芸どころまちなか披露 (A4 判両面カラー) 11,000 枚



チラシ・まちなか寺子屋 (共通) (A4 判両面カラー) 10,000 枚



チラシ・歴史まち歩き (共通) (A3 判両面カラー) 10,000 枚



スタッフ用法被



のぼり



クリアファイル